

発行日 平成 27 年 12 月 24 日  
発行 笠間市社協東支部  
編集 広報委員会  
印刷 有限会社 テクノプラン

共生の  
心一つに  
町光る



# 支部たより ひがし

## 秋たけなわ 女性部主催行事花盛り!

女性部主催の秋の行事が一  
斉に開催されました。

☆ 女性部研修

九月十四日(月)和菓子作  
りと抹茶席。三十一人参加  
☆ 柿橋ブロック・ミニサロン  
九月二十八日(月)

那須烏山の洞窟酒蔵、龍門  
の滝、山あげ会館。

四十四人参加  
☆ 女性部料理講習会

十一月五日(木)

高齢者の食事学(配食弁当  
の作り方)二十四人参加  
☆ 南友部ブロック「対話と食  
事会」

十一月十四日(土)  
二十八人参加



柿橋ミニサロン 龍門の滝



和菓子作りと抹茶席



南友部 対話と食事会



配食弁当の作り方

### 古の郷土に見つけた美と知 友部公民館出前講座 西飯田 高橋 黎治

初めて訪れる  
地に思いを馳せ  
る。「歴史を学  
ぶ」の参加者  
三十余名は、訪  
問先に関わるお  
話に聴き入る。  
講師はおなじみ  
の南秀利先生。  
優しい語り口に  
心とむ。一行を  
乗せたバスは、  
一路東北道を南  
下し、熊谷市妻  
沼に到着した。  
雨の中を「妻  
沼聖天山」へ向  
かう。広々とし  
た境内は樹が茂  
り、総門(重文)  
から仁王門へ真っすぐに続く  
参道は清々しい。寺院という  
より神社の趣が漂うたはずま  
い。ここは「埼玉の日光」と  
称され夙に知られる名所。近  
年、国宝に指定された当山の  
白眉「御本殿」は、左甚五郎  
らの手に成る三方の透塀(玉  
垣)彫刻が、細やかに様々な  
情景を表現して見事。創建当  
初(安永八年)の色彩は華麗  
に甦り、本家日光と見まがう  
ほど。生憎の天候も物かは、  
工芸美術の精緻に時間の経つ  
のも忘れ、暫し見入る。

続いて利根川に近い「荻野  
吟子記念館」へ向かう。生誕  
地は史跡公園になっており、  
長屋門を模して建てられた館  
内では、女性の人権が低かつ  
た明治初期、立ちあがる差  
別と戦い、幾多の困難をも克  
服し、近代日本初の女性医師  
となった偉人を回顧できる。  
彼女の不屈の精神と大いなる  
愛に感銘を覚えずにはおれな  
い。因みに渡辺淳一著「花埋  
み」は彼女の生涯を丁寧に描  
いた名作。天空を仰げば「荻  
野吟子」と命名された小惑星  
が在るのも、また楽しい。  
奇しくも旧妻沼村が下総古  
河藩領だったと知れば、郷土  
愛を覚え誇らしくなる。本県  
からも遠からぬ地、友人知人  
にお勧めの思いで帰路に着い  
た初秋の一日であった。

初めて訪れる  
地に思いを馳せ  
る。「歴史を学  
ぶ」の参加者  
三十余名は、訪  
問先に関わるお  
話に聴き入る。  
講師はおなじみ  
の南秀利先生。  
優しい語り口に  
心とむ。一行を  
乗せたバスは、  
一路東北道を南  
下し、熊谷市妻  
沼に到着した。  
雨の中を「妻  
沼聖天山」へ向  
かう。広々とし  
た境内は樹が茂  
り、総門(重文)  
から仁王門へ真っすぐに続く  
参道は清々しい。寺院という  
より神社の趣が漂うたはずま  
い。ここは「埼玉の日光」と  
称され夙に知られる名所。近  
年、国宝に指定された当山の  
白眉「御本殿」は、左甚五郎  
らの手に成る三方の透塀(玉  
垣)彫刻が、細やかに様々な  
情景を表現して見事。創建当  
初(安永八年)の色彩は華麗  
に甦り、本家日光と見まがう  
ほど。生憎の天候も物かは、  
工芸美術の精緻に時間の経つ  
のも忘れ、暫し見入る。



妻沼聖天山



### 柿橋運動会開催

十一月一日(日)に第  
二十九回柿橋総区運動会が柿  
橋グラウンドで開催されまし



柿橋運動会



上位入賞者

た。前日までの雨が上がり、  
爽やかな青空の下、幼児から  
高齢者まで約六百人の区民が  
様々な種目やゲームを楽し  
み、親睦を深めました。

大会開催  
第十三回東支部グラウンド  
ゴルフ大会が柿橋グラウンド  
で十一月十一日に開催され、  
小寒い風の中、一三人が熱  
戦を繰り広げました。上位入  
賞者は左記の通りです。  
優勝：松田一郎(香友会)  
二位：野上雄三(きらくの会)  
三位：野上洋子(きらくの会)

# 敬老会・各地区で開催



今年も社協東支部の各地区で敬老会が一齐に開催されました。

南友部…十月十七日(土)

宮前・鴻巣…十月十七日(土)

柿橋…十月十一日(日)

柿橋団地…九月二十七日(日)

五平…十月四日(日)

敬老会の対象者は東支部全



宮前・鴻巣



南友部



柿橋団地



五平

体で八六九人となり、昨年より約十一%増加しました。出席者は全体で二八七人と約三十%の出席率となりました。

敬老会では、お祝いの昼食とともに、長寿者の表彰が行われ、各地区で工夫をこらした催し物を楽しみました。

## 元気で頑張っています

—日本舞踊一筋40余年—

古山 白土 利子(梅香 歌翠)さん(83歳)

澄みきつた秋空の十月中旬、古山にお住まいの白土さん宅へ伺いました。和服姿に姿勢を正され笑顔で暖かく迎えて下さいました。若々しいお姿に驚きました。離れのお稽古場へ案内されお話を伺いました。

稽古場は御主人の助けがありリフォームされたとのこと。子供の頃から踊りが大好きで母親の勧めでお稽古に通っていたそうです。結婚後、三人のお子さんに恵まれ、子育て家事をしながら近隣の方達と踊りを通し絆を深め楽しい日々を過ごし、昭和四十九年茨城国体が開催の際、開会式に初めて公の場へ参加し感動したそうです。



柿橋



今日迄好きな事を続けてこられたのは、家族の協力、そして御主人の理解と強い後押しのおかげと感謝されています。稽古の合間生徒さん達とおしゃべりが楽しい時間となつていくようです。

数年前から健康と体力づくりの為、週二回グラウンドゴルフへ御主人と出かけ楽しさが増えたそうです。前向きな姿勢と秘めたる芯の強さが何



お弟子さん達と(前列 中央)

十月二十四日(土)に開催された「ふるさと祭り」に東支部はバザーで出店しました。今年の会場は友部公民館の庭で昨年より狭く、店舗がぎっしり並び、来場者でごつた返していました。販売開始の合図でお客様がなだれ込み、見る見る内に商品がさばりました。



十年も踊り一途、夢や希望を与えられたお姿に感動しました。これからも健康に留意し踊り続けて下さい。

(聞き手 深谷)



バザー出店

連日35度を越える猛暑では全国で救急搬送者が二万人以上、死者25人、また県西地区では半世紀以来の水害と自然災害の恐ろしさを体験した夏でした。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。広報委員一同は多くの情報、話題を皆様にお届け出来ますよう頑張つて行きます。(市川)

### 編集あとがき

都合により休載いたします。

一、敬老会の記事  
柿橋団地の敬老会の扱いに不備がありました。  
☆第一三〇号(平成二五年十二月発行)…開催日は記載しましたが、写真の掲載がありませんでした。  
☆第一三四号(平成二六年十二月発行)…開催日、写真共に掲載してありませんでした。お詫びいたします。  
二、シリーズ記事「我が町の自  
主防災は(第七回)」

### 広報委員会からのお詫び